

## 清川村子供会防災体験キャンプを支援 サマーキャンプで「サマキャン」！

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、7月5日（土）に実施された「清川村子供会防災体験キャンプ」を支援した。

このキャンプは、村内の小学生を対象に、防災意識や自助・共助の重要性を学び、「自分に出来ること」を考えて実践することを目的としている。厚木募集案内所は、心肺蘇生法、止血帯の使用、ロープワーク、初期消火など、実用的な防災スキルをレクチャーした。

心肺蘇生法では、訓練人形を前に「この人形は何歳？」と興味津々だった子どもたちも、実際に訓練が始まると「強さはこれくらい？」と真剣な表情で取り組んでいた。次のロープワークでは、「難しい」「これは簡単」などと声を上げながらさまざまな結び方を習得し、「ここを通して」と保護者も一緒に手を手を動かす姿が見られた。最後の初期消火では模擬火災に見立てたためにめがけて訓練用消火器で水を放射し、「やったあー」「もう一回したい」「次は誰が早いか」といった声飛び交うなど、楽しみながら防災スキルを学んでいた。

活動終了時には、子どもたちからは「もう帰るの？」と名残を惜しむ声上がり、保護者や主催者からも「ぜひ来年もお願いします」との言葉が寄せられた。広報官たちは自衛官らしく、短い後ろ髪を引かれる思いで現場を後にした。

なお、本活動は自衛隊が下記の全国で展開する「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」（通称：サマキャン）の一環として行われたもので、地域との信頼関係を深める貴重な機会となった。

厚木募集案内所は、「今後も地域に根付いた活動を通じ、防衛基盤の育成に尽力していきたい」としている。



ロープワーク



止血帯体験



初期消火

## イオンモール大和でサマキャン広報 冷たい氷と熱い思い

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、7月6日（日）、イオンモール大和において募集広報を実施した。これは7月・8月の2か月間にわたり全国で展開されている「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」（通称：サマキャン）の一環として行ったもので、当日は買い物などで訪れた来場者が、「あつ、自衛隊だ」「南極の氷がある！」と広報ブースに足を止め、多くの人で賑わった。

南極の氷や石の展示では、普段は見ることが触ることができない貴重な体験に、「つめたーい！」「ロマンを感じる」といった声上がり、年齢や性別を問わず多くの人が南極の雰囲気を楽しんだ。

迷彩服の試着体験では、敬礼ポーズで記念撮影をする子供たちの姿が見られ、保護者からは「かわいい！」との声も上がるなど、自衛隊を身近に感じてもらう機会となった。

募集相談コーナーでは、「将来は自衛官になりたい」と話す若者から試験科目や職種についての質問があり、広報官による処遇改善の説明には「絶対、自衛隊にします」と目を輝かせる姿も見られ、自衛隊のリアルな現状や魅力を直接伝える貴重な場となった。

今回は事前の告知は行わなかったが、イオンモール大和の協力を得て、多くの来場者に自衛隊や自衛官についての理解を深めてもらい、認知度の向上とともにその魅力などを伝えることができた。

厚木募集案内所は、「今後もさまざまな活動を通じて、自衛隊・自衛官の認知度向上と魅力の発信に努めていく」としている。



南極コーナー



迷彩服試着



賑わう募集ブース